

## 剣道称号「教士」審査会要項

全日本剣道連盟

### 1. 申込対象者

剣道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和3年11月30日以前に取得）した者。

### 2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の教士受審申請書に小論文を添え、都道府県剣連に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（11月15日）とする。

### 3. 都道府県剣連の推薦

- (1) 申込者が提出した、教士受審申請書と小論文を受理する。
- (2) 都道府県剣連会長は、申込者が称号・段級位審査規則第10条第2号の付与基準に該当し、かつ、称号・段位審査実施要領の「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。
- (3) 推薦方法は、候補者推薦書を作成して、受理した受審申請書と小論文（封印のまま）を添えて全剣連に送付する。

### 4. 申込締切 各市区郡剣道連盟、加盟団体が決めた日

### 5. 申込先

各市区郡剣道連盟、加盟団体事務局

### 6. 審査の方法

課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

課題・書き方および提出方法

- (1) 剣道の課題 「剣道指導者としてのあり方」  
※再受審者についても上記課題の小論文提出といたします。
- (2) 字数 800字以上1,200字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）
- (4) 書き方 用紙1～3行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホチキスで止めること。
- (5) 提出方法 封筒長3を使用し、表に「剣道称号教士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したものを登録剣道連盟へ提出すること。

### 7. 審査会期日 令和5年11月15日（水）

8. 審査料 教士 14,000 円（手数料 3,000 円込み）

9. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和 6 年 1 月号および全剣連ホームページ(<https://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

10. 個人情報保護法への対応

※ 以下を周知して下さい。

参加者の個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は、全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が行事運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

申請番号

--

\*都道府県剣道連盟で記入する。  
\*申請番号は若年順に記入する。

1. 剣 道
2. 居合道
3. 杖 道

## 教士 受審申請書 (本人用)

※ 試験会場

--

\*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は  
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟) \_\_\_\_\_ 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、  
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ			フリガナ												
1 受審者氏名	<table border="1" style="width: 100%; height: 50px;"><tr><td colspan="2"></td></tr></table>			(旧姓)	<table border="1" style="width: 100%; height: 50px;"><tr><td></td></tr></table>											
2 生年月日	<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 25%;">年</td><td style="width: 25%;">月</td><td style="width: 25%;">日</td><td style="width: 25%;">生</td></tr></table>	年	月	日	生	年齢満	歳									
年	月	日	生													
3 性 別	男 ・ 女															
4 取得称号・段位	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">称 号</td> <td style="width: 25%;">錬 士</td> <td style="width: 25%;">段 位</td> <td style="width: 25%;">段</td> </tr> <tr> <td colspan="2">取 得 年 月</td> <td colspan="2">年 月</td> </tr> <tr> <td>登 録 県 名</td> <td></td> <td>登 録 県 名</td> <td></td> </tr> </table>				称 号	錬 士	段 位	段	取 得 年 月		年 月		登 録 県 名		登 録 県 名	
称 号	錬 士	段 位	段													
取 得 年 月		年 月														
登 録 県 名		登 録 県 名														
5 全剣連番号	<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td style="width: 100%;"></td> </tr> </table>															
6 住 所	〒 <table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"><tr><td></td></tr></table>															
7 電話番号	<table border="1" style="width: 50%; height: 20px;"><tr><td></td></tr></table>		携帯番号	<table border="1" style="width: 50%; height: 20px;"><tr><td></td></tr></table>												
8 職 業	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">現職</td> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%;">前職</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>		現職		前職											
現職		前職														
※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)																
9 全剣連社会体育上級認定年月	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">年 月 認定</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>				年 月 認定			※上級認定者のみ記入								
	年 月 認定															

顔写真を貼って  
から提出し  
てください  
(3 cm × 4  
cm)

[剣 歴]※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

--

## 剣道称号「錬士」審査会要項

全日本剣道連盟

### 1. 申込対象者

- (1) 剣道六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和4年11月30日以前に取得）した者。
- (2) 剣道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成25年11月30日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。

### 2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文を添え、都道府県剣連に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（11月15日）とする。

### 3. 都道府県剣連の推薦

- (1) 申込者が提出した、錬士受審申請書と小論文を受理する。

#### 小論文の内容

- ① 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道修業について述べなさい。
- ② 字数 400字以上800字以内。
- ③ 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- ④ 提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道称号錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したもの。

- (2) 都道府県剣連会長は、申込者が規則第10条第1号の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。なお規則第11条第2項の特例による推薦は特に厳選のこと。
- (3) 推薦方法は、候補者推薦書を作成して、受理した受審申請書と小論文（封印のまま）を添えて全剣連に送付する。

4. 申込締切 各市区郡剣道連盟、加盟団体が決めた日。

5. 申込先 各市区郡剣道連盟、加盟団体事務局

### 6. 審査の方法

#### (1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

#### (2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

7. 審査会期日 令和5年11月15日(水)

8. 審査料 錬士 10,700円(手数料3,000円込み)

9. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和6年1月号および全剣連ホームページ(<https://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

10. 個人情報保護法への対応

※ 以下を周知して下さい。

参加者の個人情報(登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は、全日本剣道連盟および地方代表団体(各都道府県剣道連盟)が行事運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。



申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号  
年 月 日

\*都道府県剣道連盟で記入する。  
\*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

## 錬士 受審申請書 (本人用)

\*該当するものに○印をする。

(申請都道府県剣道連盟) \_\_\_\_\_ 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、  
道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

### 記

	フリガナ		フリガナ
1 受審者氏名		(旧姓)	

2 生年月日	年 月 日 生	年齢 満	歳
--------	---------	------	---

3 性別                      男      ・      女

4 取得称号・段位	段 位		段
取得 年 月	年	月	
登録 県 名	登録県名		

5 全剣連番号

6 住 所 〒

7 電話番号  携帯番号

8 職 業

9 全剣連社会体育  
中級認定年月 年 月 認定

※認定者のみ記入。

宮城県剣道連盟会長 殿

## 称号・段位審査申請書(中央審査用)

市(区) 郡 剣道連盟会長

㊟

受審称号段位	士	段	全剣連番号			
六七八段 受審者	審査会場			受審希望日 (○で囲む)	1日目・2日目・いずれも可	
ふりがな				ふりがな		性別
氏名				旧姓		男・女
生年月日	昭和・平成 年 月 日 ( 歳)					
現住所	〒 -					
電話番号	自宅	-		-		
	携帯電話	-		-		
職業 (○で囲む)	01 生徒	02 学生(専・大)	03 警察官	04 自衛官		
	05 教員	06 公務員	07 会社員	08 自営業		
	09 団体職員	10 主婦	11 その他	12 無職		
	13 刑務官	14 医師	15 教員大学	16 教員高校		
	17 教員中学	18 看護師	国家公務員	地方公務員		
講習会受講歴	(称号受審者は記入)					
所属連盟	市(区)郡剣道連盟					
現在の称号	士	取得年月日	昭・平・令 年 月 日	登録時都道府県名	受審場所	
現在の段位	段	取得年月日	昭・平・令 年 月 日			

- 注意事項
- ◎楷書で正確に記入すること。
  - ◎受審資格を確認し、所属連盟を経由(承認)の上提出すること。
  - ◎受審者は既取得段位証書の写し(A4に縮小)を必ず添付すること。
  - ◎「全剣連番号」(現段位証書の左下に記載されている番号)を必ず記入すること。但し、証書に全剣連番号が記載されていない場合は空欄でよい。
  - ◎称号受審者は講習会受講歴を記入すること。(全剣連又は官剣連が行った講習会直近の受講歴を3つ以内記入)